

すっかり春めいて、図書館にも鼻歌が聞こえてきます。3年生が卒業してさみしくなった校内ですが、新しい年度に向けていろいろなことが少しずつ進んでいて、また始まる新しい春に向けて準備を始めなければと、気を引き締め直しています。準備の前に、ちょいと一服。『コーヒーは楽しい！絵で読むコーヒー教本』セバスチャン・ラシヌー（596ラ）には一杯の美味しいコーヒーのためのあらゆる知識が満載されています。お茶派の方には『からだにいいお茶のすべて 日本茶・紅茶・中国茶・健康茶』大森正司監修（596ニ）や『お茶の愉楽 日本茶』高宇政光監修（596ニ）などもどうぞ。 司書

## 📖 今だから!? ハリー・ポッターの世界 📖

ハリー・ポッターの世界が広がるゲームが発売され、夏にはハリー・ポッターのテーマパークがオープンするなど、ここ最近ハリー・ポッターの新しい楽しみ方が増えているようです。小さい頃に読んだけどもう一度読みたい人も、映画でしか観たことがなかったから本を読みたい人も、今までまったく興味がなかったという人も、高校生の今、本のハリー・ポッターの世界に浸ってみませんか。

○J・K・ローリング『ハリー・ポッターと賢者の石』から『ハリー・ポッターと死の秘宝』までのハリー・ポッターシリーズ全7部（933口）

小学校の図書館に並んでいた？ハードカバーの本です。ハリー・ポッターと賢者の石、秘密の部屋、アズカバンの囚人、炎のゴブレット、不死鳥の騎士団、謎のプリンス、死の秘宝まで、一気読みに挑戦してみませんか。

○J・K・ローリング『ハリー・ポッターと賢者の石』から『ハリー・ポッターと死の秘宝』までのハリー・ポッターシリーズ（文庫933口）

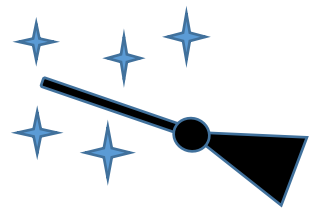
手軽な文庫版なら、気楽に取り組めるかも。

○J・K・ローリング『ハリー・ポッターと呪いの子』（932口）

向井理や藤原竜也がハリーを演じる舞台にもなっている、ハリーが大人になってからの物語です。シナリオ仕立てな内容も新鮮です

○J・K・Rowling『HARRY POTTER and the philosopher's Stone』（洋書933R）ほか

ハリー・ポッターの洋書版も揃っています。



○『ハリー・ポッター映画大図鑑 全12巻』（596タ）

ハリー・ポッターの映画の世界が、詳しい解説やイラスト、写真とともに、12冊の本でよみがえります。巨大なクモのアラゴグはCGを使わずに敢えて実写化し、アラゴグの最期のシーンを撮り終えたときにはデザインチームの皆が喪章を付けて悲しんだことなど、撮影の裏話も満載です。ある先生が、ロンドンのロケ地が載っているページを見て「この駅の近くに住んでいたわ！」と話され、図書館が盛り上がったこともあります。

○ドミニク・チータム『成長するハリー・ポッター 日本語ではわからない秘密』（930チ）

作品を通して成長していくハリー・ポッターを、学問的な分析を行い、児童文学の世界を大きく広げて理解することができるようになる本です。大学での授業がもとになっているというこんな本に出合えたら、進学することに大きな目標が生まれそうです。



## □ 2年生からのおすすめ本 □

ロングホームルームの時間に図書館の本を一冊選び、周りにおすすめするコメントを書いていたクラスがありました。私も読んでみたくなった素敵なコメントを紹介します。就職や入試の面接で「最近読んだ本は？」と聞かれたときに応えられるような、そんな本を今のうちから見つけませんか。



### ○アンデシュ・ハンセン『新版 一流の頭脳 運動脳』(491 ハ)

「運動することで脳が成長する」

脳は未知のことが多いけど、近年の研究で分かったことがある。脳の処理能力・記憶力などを上げるにはクロスワードなどは効果がなく、運動だった。ただ、一度するだけではなく、継続して習慣的に行うと効果が出るので、エレベーターやエスカレーターを使わず階段を使ったり、移動するときはバス・電車の代わりに自転車に乗ったりしてみると脳が発達するので運動しよう！

### ○ニール・F・カミンズ『もしも月がなかったら』(448 カ)

もし地球の衛星に月がなかったら、月の影響を受けている潮汐や地球に存在する生命、引力がどうなっていたかが書かれている本。月がないだけではなく、月人地球の距離が近かったらや、地球の惑星が小さかったらなど、もしもの話が多いですが、もし〇〇がなかったら？などを知ることができる本となっています。

### ○藤田結子『ワンオペ育児 わかってほしい 休めない日常』(367 フ)

◇負け犬：未婚、子なし、30代以上の女性のこと

◇勝ち犬：普通に結婚して子供を産んでいる人たちのこと

「勝ち犬」と言われる人たちは、本当に幸せなのだろうか？仕事の他に、毎日十数時間も給料の出ない家事や育児という労働をして、自分磨きに時間をあてることはほぼ無理。育休を取れたとしても、そのまま地位を保てるかわからないし、男性上司からの嫌味なども当然にある。それは他人ごとではなくて、自分たちが成長していくにつれて避けては通れない問題である。その問題を解決するために、女性も男性も「ワンオペ育児」について深く学ぶ必要がある。ぜひ読んで。

### ○タイムリー編集部編『甲子園をめざせ！古豪復活の道のり』(783.7 シ)

この本は、昔、甲子園常連校だった公立高校を取り上げたもので、Y校も書かれています。各校の歴史や実績、監督の言葉、今の取り組み、選手の言葉などがありました。読んでみると、昔は……、とか、強かったときは……、など今と昔をすごく比べていて、なんか腹が立ちました。でも昔の凄い成績を見ると自分たちがどれだけ未熟で弱いのかをすごく感じました。どこの高校もすごく頑張っていて、写真を見ると、より一生懸命さが伝わってきます。どの高校も公立校ながら部員は100人越え、私学と同じ、もしくはそれ以上の人数でやっているため、どこも競争が激しいと書かれています。こんなかんじで古豪復活を目指している高校が6校も取り上げられていて、その中にY校も載っています。野球好きにはぜひ読んでほしい一冊です。

### ○テリー・ケイ『白い犬とワルツを』(文庫 933 ケ)

この話は、主人公である老人サムが、長年連れ添った妻の死後、どこからか現れた白い犬と余生を共にするお話です。彼視点だったり、三人称視点だったり、話し手がよく切り替わるので、注意しながら読んでください。どことなく悲しい雰囲気漂う物語ですが、心が暖まる場面もあるので、読み始めたらすぐに引き込まれると思います。まるで映画のような小説なので、見つけたらぜひ手に取ってみてください。



### ○小林大輔『まちづくり戦略3.0』(601 コ)

ある地域で人やカネが集まり交流をさせる行動全般を「まちづくり」と称し、弱者の戦い方を紹介する本。ここでは兵力で劣る弱者が、多様性の時代である現代に、ある一つの強みを持てば弱者は生き抜くことができるということを紹介する本。

## □ 横浜市立図書館から □

### ★中央図書館のイベントのお知らせ★

日ノ出町や桜木町駅から歩いて数分、Y校からも頑張れば歩いて行ける中央図書館から、楽しそうなイベントのお知らせが届きました。素敵なプレゼントもあるそうです。どちらも申し込みは中央図書館のWEBからどうぞ。

#### 【図書館工作部 和紙でランプシェードをつくるワークショップ】

3月23日(木) 14:00~16:00

対象：中高生世代

横浜市中央図書館地下一階 交流と学びのフロアにて

🔍 [【横浜市中央図書館】「図書館工作部 和紙でランプシェードをつくるワークショップ」申し込み | 横浜市電子申請・届出システム \(yokohama.lg.jp\)](#)



#### 【#推し活トラブル、なんでも講座】

3月29日(水) 14:00~15:30

横浜市中央図書館地下一階 交流と学びのフロアにて

🔍 [【参加者募集】「#推し活トラブル、なんでも講座！」\(15歳から18歳向け\)を開催します。横浜市 \(yokohama.lg.jp\)](#)

## □ 今月のおすすめ本 □

### ○小川哲『地図と拳』(913.6 才)

第168回 直木賞を受賞した、分厚さに驚く歴史小説です。満州を舞台に、日露戦争前から第二次世界大戦までの半世紀を描いています。巻末の8ページにわたる参考文献は歴史や建築関係など多岐にわたり、この小説を書くためにどれだけの膨大な資料を読み込んだのだろうかと考えさせられました。戦争を描いているので暴力的な場面も多いのですが、中でも日露戦争を描いている章を見て、日露戦争で英霊となったY校の卒業生が浮かび、切ない気持ちになりました。日本史や世界史の授業で、Y校の卒業生や先生が日露戦争に出兵したことに関する図書館所蔵の資料を見たY校生も、きっと同じ気持ちになるのでは、と思いつつ、壮大な物語を閉じました。

そしてもう一冊、卒業生のみなさんにおすすめします。

### ○柿内尚文編『パン屋ではおにぎりを売れ』(141 才)

マーケティングの本?と思いきや、サブタイトルに(想像以上の答えが見つかる思考法—地味だけど一生役立つ「考える技術」)とあるとおり、「考える」ことに関する様々な「技術」が書かれています。これからの人間関係や仕事のこと、勉強のこと、お金のことなど、どんなことにも応用できそうなことばかり。卒業しても面白い本に出合えますように。そして楽しく幸せな毎日を過ごせますように。





## Y校アーカイブ vol. 16 「卒業アルバム 大正編」

春のはじめの佳き日に、卒業式が行われました。校長先生、PTA 会長さん、在校生代表、卒業生代表のどの言葉も心にしみ、会場全体があたたかな気持ちに包まれていました。

図書館には、Y校の卒業アルバムが収められています。古いものは欠けている年度が多いのですが、時代を知ることができる貴重な資料として大切に保管されています。今回は大正時代のものを紹介します。

大正5年(1916年)のものが一番古く、中には初代校長の美澤先生が前号でお伝えした『自助論(セルフ・ヘルプ)』の講義をされている写真が掲載されていました。アルバムの大きさは横 27cm、縦 20cm、厚さ 1cm、えんじ色の線とYの文字でトリミングされた紙が 18 枚綴られており、55名の卒業生がいろは順に並んでいます。



大正5年当時の校舎全景と校訓

職員一同

勉強する生徒の様子

大正13年3月のアルバムには、前年9月の関東大震災によって倒壊した校舎の様子が載っています。2年後の大正15年の剣道部員の写真の背景には工事中の新校舎が写っています。

あいだの大正14年のアルバムには、Yのマークの着いた制帽を被った生徒や、着物姿の生徒もいます。



大正13年 関東大震災により倒壊した校舎

大正14年の卒業生

大正15年 鉄筋コンクリート3階建て建築中